

消防出初式

きびきびと動く消防団員たち。
今年度は16名の新人が入団しました。



平成27年 第4回定例会 2

町政を問う (一般質問) 6

応援しようでえ〜!
うたづっ子 「宇小 陸上クラブ」 15

みなさまの声 「子ども会会長」 16

マイナンバー制度 医療費の増加



平成27年 第4回定例会

平成27年第4回定例会は12月9日から17日まで開催され、継続審査1件を認定、発議1件、議案10件を委員会付託し慎重に審議した結果、本会議では原案をすべて可決および認定しました。一般質問は10日、11日に行い、議論を交わしました。

おもな内容

平成27年度 一般会計 補正予算

(3362万円)

- ・ 健やか子ども基金積立金
県から毎年450万円ほどの補助金があるが、3年分を前倒しで支出されたため、基金に積み立てる。
- ・ ひとり親家庭等医療費支給費
件数は変わらないが、当初の予定より単価が上がった。
- ・ 漁港水産施設管理費
北浦漁港の照明灯の工事費
- ・ 給食センター管理運営費
米飯給食を週3回から3.5回に増やしたため、増額補正する。

国民健康保険特別会計 補正予算

(7000万円)

- ・ 一般被保険者療養給付費
前年度から6.2%増加している。
入院費は7.3%、調剤費は7.4%の増加。

- ・ 一般被保険者高額療養費
件数も医療費も伸びている。特に消化器系が多い。

条例改正

- ・ 宇多津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定
(要旨) マイナンバー制度の実施に向けて、「特定個人情報」といわれる重要な個人情報の取扱いを税、社会保障、災害に限定する。
- ・ 宇多津町個人情報保護条例の一部を改正する条例
(要旨) マイナンバー制度の実施に向けて、「特定個人情報」の開示について条例を改正する。

発議

- ・宇多津町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
 (要旨) 平成28年4月1日から、県内の医療機関での立替え払いを廃止し、乳幼児医療費と同様の扱いとなるため、条例を改正する。また、条例名は「助成」から「支給」に変更する。
- ・宇多津町ひとり親家庭等医療費支給に関する条例及び宇多津町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例
 (要旨) 子ども医療費助成の条例変更にもない、関連する文章を変更する。
- ・宇多津町介護保険条例の一部を改正する条例
 (要旨) マイナンバー制度にもない条例を改正する。
- ・平成27年度 デジタル消防波無線機購入に伴う契約の締結 (650万円)
 (要旨) 平成28年5月にアナログが使えなくなるため、デジタル消防波無線機を車載型を含め6式購入する。
- ・早急にヘイトスピーチ対策を求める意見書
 (要旨) 近年、外国人や人種、民族を排斥する差別的言動、いわゆるヘイトスピーチが全国各地で行われ、社会問題となっている。東京オリンピックを目前に控え、外国人に対する差別や偏見をなくすべく啓発活動に取り組み、ヘイトスピーチに関する早急な対策を講ずることを国に強く要望する。

本会議 議員の賛否

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 (議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する)

主 な 審 議 案 件		港	大黒	井上	西本	濱中	柴村	宮本	大松	青木	藍川
認定	平成26年度一般会計歳入歳出決算認定 (継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案	平成27年度一般会計 補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度国民健康保険特別会計 補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	水田農業確立対策基金の設置、管理、処分に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	ひとり親家庭・重度心身障害者医療費支給に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度デジタル消防波無線機購入に伴う契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
発議	早急にヘイトスピーチ対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

消防無線がデジタルに

総務建設常任委員会

マイナンバーの記入

Q 申告書や申請書にマイナンバーを書く欄ができると思うが、書かなくてもよい場合はどうするのか。

A トラブルのおきないように、書く場合と書かなくてもよい場合がわかるような様式を考えている。

税務課 ほか

個人情報の管理

Q ある市で職員のパソコンから個人情報が増える事件があったが、本町では対策は取っているのか。

A インターネットに接続しているパソコンは、庁舎内では一部に限られており、今のところ情報漏えいはない。今後、パソコンやUSBなどのさらなるセキュリティ強化に取り組む。

総務課

消防無線がデジタルに

Q 消防無線を随意契約にしたのは。

A 坂出市消防本部が、今年度末までにデジタル無線に変更される。消防業務を委託している本町も相互に連絡を取り合っており、同様の無線機を購入する必要が生じた。

危機管理課



消防車にも無線が取り付けられる

追跡調査

JA跡地に分庁舎を建設

現庁舎は昭和56年に完成して以来34年が経過し、鉄筋コンクリートの一般的な寿命と言われる60年から70年のほぼ折り返し点に達しています。また、このままでは今の耐震基準を満たしていないので、『トグル』という耐震装置を入れることにしました。さらに、行政サービスの需要拡大やパソコン機器などの増加により、事務用スペースが手狭になってきました。そこで昨年JA宇多津支店(1339㎡)の土地を購入し、分庁舎を建設することになりました。完成は今年8月末の予定で、9月には本庁舎から分庁舎およびコミュニティ会館、保健センター3階に仮移動し、いよいよ本庁舎の耐震改修工事に取りかかります。



分庁舎の建設予想図

町政を問う

(一般質問の件名)

井上 弘治	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来ビジョンと広域的地域活性化 ・ 本町の軍師 副町長の政治理念は
西本 祐子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団のさらなる充実を ・ ふるさと納税を強化しては ・ 保育所への広域入所の拡大
濱中 保夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉センターの今後の予定は ・ 宇多津駅周辺の照明の交換は
柴村 賢三	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上水道の鉛製給水管の対応策は万全なのか ・ 犯罪被害者支援の条例を求める
宮本 隆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園遊具の安全点検 実施状況は ・ 宇多津小学校の通学路改善策は
青木 義勝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間対応のAEDで「減らせ突然死」 ・ 避難所にマンホールトイレ設置を
藍川佳津樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の予算編成方針は ・ 中期財政計画策定 ・ 水道広域化、空き家、耕作放棄地対策
大黒 一也	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット利用のルール作り ・ 学校給食における食育

視察報告

11月24日に教育民生常任委員会の町内視察をしました。宇多津小学校の通学路の点検と確認、および「認知症カフェ」(仮称)の現状の視察です。



◀ 長縄手地区の通学路の点検



◀ 「認知症カフェ」の中の様子

増える、国保の給付費 教育民生常任委員会

国保の給付費増加

Q 国保の給付費が年々増加し、年間予算総額20億まで手が届く勢い。医療費の伸びを抑制する対策は。

A 全体では前年度6.2%増で、入院費は7.3%、調剤費は7.4%の増加。

世代別では、前期高齢者が横ばいで、未就学児と一般の医療費が件数、費用ともかなり伸びている。検診の受診率アップ、健康管理の充実を図りたい。

健康増進課

子ども医療費支給

Q 平成28年4月1日から、県内の医療機関での子ども医療費は現物給付となるが、病院の窓口で提出するのは健康保険証だけで良いのか。

A 病院の窓口では健康保険証と受給資格者証の提出をお願いしたい。受給資格者証は郵送する予定。

健康増進課

中央保育所の改修

Q 中央保育所改修工事の追加の理由は。

A 工事期間中に建物と非常階段との結合部分の不具合が判明した。今回の補正予算でその金額を増額する。

保健福祉課



井上 弘治 議員

将来ビジョンと広域的地域活性化

自主財源の確保増加を主眼に
行政施策を講じたい／総務課長

問 内閣府の調査で人口

増加率の高い地域は、産業の拠点などがある中核都市の近隣市町が多くなっている。人口増加率と製造業、商業などの集積立地と一定の相関性があるものと考えられる。本町は、坂出番の州工業地帯と丸亀臨海工場地帯、本町の商業地域を考察すればベットタウンとして都市づくりにも適合していると考えますが、いかがか。

山下総務課長

人口と地

方交付税の関係を一般論で言えば、人口が増加すれば地方交付税の普通交付税の増額につながる。しかし、国全体の人口減少や税制状況など社会経済情勢を鑑みれば、普通交付税は一概に増額するとは言えない状況になる。本町は、地方交付税などの依存財源に頼るのではなく、あくまでも町税などの自主財源の確保や増加を主眼に、行政施策を講じていきたい。

宇多津町の人口推移



※平成22年までは国勢調査のデータに基づく実績値、平成27年は12/1現在の数字。

本町の軍師 副町長の政治理念は

町長の政策や理念を理解し、
職責を果たす／副町長

問

政治にNo.2の手腕が大きく左右する。市町村の自治体が自然淘汰へ進んでいる時代。現在は、政策ソフトの時代であり、軍師としての副町長の政治使命は大きい。

本町は、昭和28、32年と2度合併寸前を回避した経験がある。当時の平田三次郎元町長始め、諸先輩方の

亀井副町長

私の職務は地

方自治法上、町長を補佐し、町長の命を受け、政策や企画をし、職員の担任する事務を監督する。住民福祉の向上を第一として、その職責を果たしたい。

また、ご質問を受け、大変重く感じている。本町が将来に向けて発展していくには、町長を支え、職員が一丸となり力を発揮していく必要がある。故事には、君主への直言にまつわるものがある。町長の政策や理念を理解し、正確な現状把握を図り、的確な判断が下せるよう努めたい。



西本 祐子 議員

消防団のさらなる充実を

今後も継続して制度への参加を
お願いしていきたい／危機管理課長

誘活動の成果である。県
れは消防団の地域での勤
名に対し実員100人で、こ
い。現消防団員は定員108
参加をお願いしていき
今後も継続して制度への

山下危機管理課長

町内で

性消防団員の獲得は。
また団員を増やす努力、女
店舗が参加しているのか。
が、町内ではどれくらいの
受けられる制度を開始した
での割引などのサービス
団員応援制度として、店舗

問 全国的に消防団員が不

足し、高齢化が進んでいる。
全国各地で災害が頻発する
中、地域防災力の強化や充
実、消防団員の確保が課題
となっている。県では消防

下では6市町で女性消防

団員を採用しているが、
これらの市町では常備消
防と非常備消防、いわゆ
る消防署と消防団を有し
ている。

再質問

地元の短大や専
門学校、女性防災士への
呼びかけは。

山下危機管理課長

地元学

生の消防団への加入の呼
びかけも、女性消防団と
同様、機能別団員分団制
度の一つと考えている。
香川短大とは包括的連携
協力協定を結んでいる。
女性防災士の人数までは
把握していない。要望が
あれば支援する。

ふるさと納税を強化しては

東京や大阪の香川県人会なども
PRをしたい／町長

問 以前、先輩議員の一般

質問答弁で「パンフレット
を作成する」「特産品を開
発する」とのことだったが、
進捗状況をうかがいたい。
税収が増えない中、サポー
ターは必要。「ふるさと納

税」のお礼合戦に加われと
は言わないが、町で育てた
子どもたちにも呼びかけて
はどうか。

谷川町長

来年度から、

ゆうちょ銀行の専用口座
の開設、返礼品や募集方
法の見直し、ネット上で
の受付、町のホームページ
や広報紙での周知など
を予定している。関西宇
多津会ではご案内してい

再質問

商品開発は必要
ない。町内にあるもの、
希少糖、海産物なども
っと利用しては。

谷川町長

聞いたところに

よると、魚介類の加工品や
野菜といった第一次産業的
なものに人気が集まってい
る。町の特産物や町内で製
造されているものについて
は、ラインナップにぜひ加
えたい。



中野 保夫 議員

福祉センターの今後の予定は

基本設計費、取り壊し費用と建築費を 概算で計上している／保健福祉課長

し、平成28年度の取り壊し費用を計上する考えであつた。

現在、庁舎耐震工事のスケジュールが決定したので、今年度の中期財政計画において平成30年度に基本設計費を、平成31年度に取り壊し費用と建築費を概算で計上している。

高瀬保健福祉課長 平成30

年度の基本設計の折に、いつまで利用できるか、どういう形で利用を進めるかなどを決める。

高瀬保健福祉課長 昭和42年に建築され、地震において倒壊または崩壊の恐れがある緊急性の高い建物で、早期の建て替えを検討

再質問 解体が平成31年度になるということは、福祉センターの使用はいつまでか。



耐震基準を満たしていない福祉センター

宇多津駅周辺の 照明の交換は

さらなる議論の 高まりが必要／町長

谷川町長 他県の成功事例に学び犯罪を減らし、安全な町を目指すべく、また議会で議員提案もあり、青色防犯灯を設置した。しかし一方で暗いという意見がある事も承知している。青色水銀灯は、すでに生産中止になって、交換在庫も2、3年分となっている。さらなる議論の高まりが必要と考えている。

問 宇多津駅北南広場の照明は、防犯効果を目的とした色に変えたが、駅周辺が暗いとよく耳にする。不特定多数の人が利用する駅周辺の事故防止および防犯対策のためにも明るい照明への変更は可能か。さらに防犯カメラの設置は。



駅東の駐輪場に設置された防犯カメラ

中村住民生活課長 すでに東西駐輪場には防犯カメラを設置して、犯罪抑制に努めている。



柴村 賢三 議員

上水道の鉛製給水管の 対応策は万全なのか

本管からメーターまでの給水管は
個人の財産である／水道課長

松本水道課長 本管からメーターまでの給水管は個人の財産である。保管している給水台帳には材質が表示されていない場合が多いため、把握しにくい状況にある。

問 住民が安心して飲んでいる水道水に、蓄積性の毒物である鉛の成分が溶けてにじみ出ていれば健康を害する。本町では安心して飲めるのか。

県内には、まだ鉛製給水管を使用している自治体が33.7%ある。本町は、その使用世帯数の実態を「把握していない」と調査報告しているがその理由は、鉛製給水管使用世帯の残存実態を調査する必要があるのでは。

残存調査は必要であるが給水台帳に記載されていないので、自宅に鉛給水管が使用されているかを確認されたい方は、水道課まで連絡いただきたい。

再質問 鉛製給水管に関する状況をホームページのみでなく、広報で全住民に知らせる必要があるが。

松本水道課長 今後も住民に周知するため、広報への掲載を検討する。

なお、宅内での使用が不明な場合は、念のため朝一番にバケツ1杯程度の水を飲み水以外の用途（水洗トイレなど）においていただきたい。

犯罪被害者支援の条例を求める

専門機関と連携することを

検討したい／総務課長

問 近年、通り魔的な無差別凶悪犯罪事件が多く発生し、尊い命が奪われたり、何の関係もない人が犯罪に巻き込まれている。犯罪被害者やその家族・遺族の方には大きな心身のダメージを受けている。犯罪被害によって経済力などに問題が発生し、その後の生活に支障が生じている。

他の自治体では支援の条例を制定して被害者の支援が広がっているが。

再質問 人口が増えれば増えるほど犯罪発生率が高くなる。相談に応じる総合窓口を求める。

アの皆さまと協力して各種啓発活動を行っている。国も遺族給付金などの制度を設けており、県へも働きかけながら民間を含めた専門機関と連携することを検討したい。

山下総務課長 犯罪を未然に防止し安心して暮らせるよう警察や地域ボランティア

山下総務課長 被害者の方がひとりで悩むことなく、もとの生活に戻るための相談が支援できるよう取り組みたい。



宮本 隆 議員

公園遊具の安全点検

実施状況は

3年に一度程度専門家に委託し
詳細点検を実施している／地域整備課長

問 町が管理する公園にはどれくらいの遊具が設置されているのか。

遊具の安全点検の頻度ならびに方法をうかがいたい。また、設置後20年以上経過している遊具は、全体のどれくらいの割合を占めているのか。

松井地域整備課長 27か所の公園を町が管理しており、そのうち21か所に遊具が設置されている。安全点検については担当者が月に一度、点検を行っ

ており、3年に一度程度

遊具メーカーなどの専門家に委託し詳細点検を行っている。前回は平成25年度に実施しているので、そろそろ詳細点検を行う必要があると考えている。設置後20年以上の遊具は、全遊具数の5%である。

再質問 日常点検・定期点検などの点検台帳や措置

の手順は、作成しているのか。点検済証の表示や使用年齢表示シールなどは、遊具に貼っているのか。

松井地域整備課長 点検な

ど同じような判断ができるように、今後マニュアルを作っていく必要があると考えている。適応年齢シールについては、臨海公園の遊具にはすべて貼っており、その他複合遊具にも貼っていると思う。再度現場を確認する。



老朽化のためリニューアルした「ゴリラ公園」の遊具

宇多津小学校の通学路改善策は

関係課と歩調合せて要望などをしていきたい／教育長

問 質問の場所はご承知だ

とは思いますが、津ノ郷地区の児童は、県道東側の通学路を利用して利用している。それ以外の南部地区の児童は、県道の西側に隣接の歩道を通学している。通学と通勤の時間帯が重なり、児童の横を車が切れ間なく通過している。舗装改修工事をしたが、ま

た水たまりができ相当量の水が跳ねている。早急に改善策をお願いしたい。

合田教育長 県道の補修は

町独自でできるものではなく、相手方の裁量によりできるものである。今後も引き続き関係課と歩調を合わせて要望などをしていきたいと考えている。

松井地域整備課長 県道富

熊・宇多津線は都市計画道路に指定されている。通学路として利用する場合であっても、やはり都市計画道路として整備を行っていかなければならないと考えており、今後も強い要望を行ってきたい。



青木 義勝 議員

24時間対応のAEDで 「減らせ突然死」

町内のコンビニや自販機にも
AED設置を依頼する／危機管理課長

山下危機管理課長 AED使用と心肺蘇生法の実施により救命率が上がることは多くの方が認識するところである。町内30事業所に55基を設置、24時間使用可能な1事業所のみ。平成26年の坂出市消防本部救急隊のAED使用事例は66件、うち13件が宇多津町だった。救急車の到着時間は7.5分、通報から病院搬送まで24.2分

問 AEDの普及率は世界トップクラス。しかし、年間7万人を超える心肺停止の事例。本町の事例と1秒を争う事態での救急車の搬送時間は。また現場に居合わせた市民の51%が応急手当を実施するがAED使用率はわずか3.6%。これはAED設置場所と操作方法が分からないためだ。町内の設置台数と24時間営業のコンビニなどへの設置の考えを問う。

山下危機管理課長 バイスタンダー（現場に居合わせた人）の事例は昨年3件あったが除細動メッセージはなかった。町民の救命講習会受講者は昨年救命入門コース185名、普通救命講習が36名であった。今後も受講の勧奨を行う。AED操作方法も町ホームページで動画アップを検討する。

で全国平均より早い。設置場所として、町内のコンビニに設置依頼も行っている。自販機業者にはAED付き自販機の設置も交渉したい。

再質問 AEDを使用した市民の救命率は36%、救急隊の救命率は18%。これは現場に居合わせた人の1秒を争う迅速な対応が救命率を上げる。「心肺蘇生法」普及の大切さを問う。

山下危機管理課長 万葉公園・桜の広場にそれぞれ災害用トイレを5基ずつ設置

問 東日本大震災では仮設トイレが避難所に行き渡るまでに4日間以上を要した。避難所の劣悪なトイレ環境は避難者たちの健康に悪影響を及ぼす。マンホールトイレは迅速な組み立てが可能。下水管につながっていることから、汲み取りや臭いなど日常生活に近いトイレ環境が保てる。重大災害時の備えとして広域避難所のトイレ環境も検討すべきでは。

避難所にマンホールトイレ設置を 下水道管の耐震化も視野に入れ 調査・研究し、検討する／危機管理課長

しているが、町内4か所の広域避難所には非常時に下水道管に直結したマンホールに簡易便座を置き使用するマンホールトイレは設置していない。避難所の苦情の上位にトイレ問題が挙げられている。下水道管の耐震化も視野に入れ調査・研究し、検討していきたい。



長岡京市のマンホールトイレ



藍川 佳津樹 議員

来年度の予算編成方針は

効果の低い事業は廃止、
縮小の方向で進めたい／総務課長

問 平成26年度決算審査での財政状況は概ね健全と議会は認定した。しかし、経常収支比率の上昇に加え、庁舎耐震改修など大型事業が控えている。懸念は残り、当然取捨選択が迫られる事態になる。先の決算審査の議論を踏まえた上での、予算編成方針および来年度予算の中で具体的に取捨選択の対象となる事業を公表できれば示されたい。

山下総務課長

歳出では

庁舎耐震改修などの大型事業を、歳入では町税の減収が見込まれており、厳しい財政状況である。また、地方創生総合戦略に掲げる施策も優先順位を充分認識して、予算計上する予定である。既存事業などについては、取捨選択を徹底すべく鋭意努力している。事業の公表については、今の段階では差し控える。

再質問

何度か議論した自治体通販関連事業、アートワードなど成果に疑問が残るが、新たに自治体スマ

ホ協議会に加入することになった。身の丈行政の観点から見直すべきではないか。

浅野まちづくり課長

自治

体型特選ストア、それにかかわるシンガポールの事業はいずれも十分な成果が出ていない。今後どうしていくか、現在予算編成中で、そういったことを踏まえて全体の予算を組んでいきたい。



JA跡地に分庁舎建設工事始まる

経常収支比率
支出のうち必要経費（人件費、扶助費、債務など）の割合

中期財政計画策定

財政健全化の基準値も

勘案する／総務課長

問

5年ごとの中期財政計画は、いわゆる財政運営の進路予想図として諸施策を立てる際の寄る辺となるものだが、庁舎耐震改修、道路橋梁、上下水道などの生活基盤施設の老朽化による維持修繕、さらには福祉セ

ンターの改修（建替え）も近いことなど、財政運営上、中期的にも課題は多い。そこで課題を見据えた上で、今後の5か年計画の骨子をお聞きしたい。

山下総務課長

平成28年度

から32年度までの財政見通しを推計し、中期財政計画を策定したところである。来年度以降の予算編成にあたっては、その時点での財政状況や制度改正などを踏まえ、具体的な内容を定めることになる。今後、財政健全化の基準値も勘案しつつ財政運営を図りたい。

議会だより（57号）の藍川議員の質問中に「図書購入に不明朗があり」とあったのは「武雄市図書館」のことです。



大黒 一也 議員

ネット利用のルール作り

今後も「さぬきっ子の約束」を呼びかけ、適切な使用を働きかけたい／学校教育課長

和田学校教育課長 今回県が中心になって、小中学生用別々に「さぬきっ子の約束」を記載したリーフレットを作成した。大切なことが大変分りやすくまとめられているので、本町においても小中学生とその保護者に配布した。今後も「さぬきっ子の約

問 情報技術の急速な発展は、経済社会や日常生活に対して功罪両面の影響を与えている。変化に対応して、未来を担う子どもたちに情報を活用する能力を身に付けさせ、保護者、児童、生徒への情報提供や注意喚起を直接行う教育が必要である。日常生活のルール作りの啓発活動ができないものか。

束」を小中学生に呼びかけ、適切な使用を働きかけたい。

再質問 専門家による親子携帯教室を開き、情報教育を取り入れる考えは。

和田学校教育課長 宇多津町にも指導員となっている保護者がいると聞いている。指導員の方に協力いただいで、保護者がたくさん集まる機会などで講習会を行い、各学校においても情報教育の中で適切な運用について指導を行っていききたい。



リーフレット「さぬきっ子の約束」

問 学校給食は、児童、生徒に望ましい食生活習慣を身につけさせ、学校生活を豊かにし、食事を通して明るい社交性、好ましい人間関係を育成する。通常の授業と違う環境や形態で給食を行う部屋の設置ができないか。

学校給食における食育 学級を超えた交流給食を図っていききたい と考えている／学校教育課長

年団単位での仲良し給食、卒業生を対象としたバイキング給食を実施しており、これからも特別教室などを活用して学級を超えた交流給食を図っていききたいと考えている。

和田学校教育課長 ランチルームを設置することは、各学校とも空き教室がなく、運営面などを考えた場合、現状では難しいのではないかと。

再質問 地元の食材を使うことで感謝する心を学び、郷土の味覚を思う心につながる。食育の場で食を楽しんでは。

ランチルームに代わる取り組みとして、宇多津小学校で地区単位での給食、学

和田学校教育課長 特別教室を活用し、学校の意見を聞きながら、関係者とのふれあい給食ができるよう、衛生面、環境を整備しながら検討していききたい。

第10回 議会報告会

11月14日にやすらぎプラザにおいて第10回議会報告会を行いました。はじめに総務建設委員会と教育民生委員会の報告をし、皆さまからたくさんのご意見、ご質問をいただきました。これらのアンケート結果、ご意見を今後の議会活動につなげていきます。

議会報告会のアンケート

- ① 議会報告会の内容についてわかりやすかったですか。
わかりやすい……50% わかりにくい……50%
- ② やすらぎプラザでの開催はどうでしたか。
よかった……86% よくなかった……14%
- ③ 開催日はいつがいいですか。
平日よりも休日のほうがよい



やすらぎプラザの入り口



パワーポイントを使って説明する議員



《町政に対するご意見》

- ・ 具体的な予算の使われ方、推移を知りたい。
- ・ 町の財政状況をわかりやすい資料にしてほしい。
- ・ 自治会ごとの収支報告を知りたい。
- ・ 昼間に開催したほうが住民は集まりやすいのでは。
- ・ 説明資料がわかりやすくてよかった。
- ・ 開かれた議会ということが徐々に浸透していると思う。



母親クラブ



12月4日、庁舎4階の委員会室で、宇多津町母親クラブ連絡協議会（5保育所の代表）と意見交換会を行いました。会では、育児のこと、保育のことなど、働くお母さんの切実な悩みを聞くことができました。何よりお母さん方が、保育の充実や子育て環境の整備をより一層望んでいることを痛感しました。明日の宇多津町を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、議会としても町に働きかけてまいります。

おもな意見

- 町内で病児・病後児保育をしてほしい。
- 3歳未満の第2子は保育料が無料なのに、周知が足りない。
- 卒園児を4月1日まで保育園などで預かってもらえないか。
- 医療費は戻ってくるが、償還が手間である。
- 通学路の道路状態が悪く、車が通るたびに水が跳ねる。
- 北小学校の送迎の車の路上駐車がひどい。



お母さんたちからは
活発な意見が

皆さんは「スーパー讃岐っ子」をご存知ですか。今年度は県内で35人が合格し、宇多津小では3人が選ばれ、そのうち2人は陸上クラブのメンバーでした。(「スーパー讃岐っ子」は右下参照)

そこで早速、陸上クラブの練習を直撃。この日行われていたのは、いろいろな走り方と各種なわとび。子どもたちは指導者のアドバイスのもと、休憩をはさみながら次々とプログラムをこなしていました。体を動かすことが大好きな「うたづっ子」たちは、とても楽しそうにいい汗をかいていました。

今年の活躍に、乞うご期待!



宇多津小学校 陸上クラブの皆さん

今年の目標は?

- 県大会に出る
- ベスト3に入る
- 外遊びをする

どんな習い事をしている?

- サッカー・・・2人
- ドッジ・・・2人
- その他、水泳、ダンス、ピアノ、硬筆など。

体育以外で得意な科目は?

- 音楽・・・3人
- その他、国語、算数、英語

得意な種目は?

- 100m走・・・4人
- ハードル・・・2人
- ボール投げ・・・2人
- その他、高跳びなど。



**応援しようでえ〜!
うたづっ子
宇多津小 陸上クラブ**



横山校長のご指導もあり、子どもたちの走るフォームは、とても良くなっています。記録にも期待しています。

岡谷先生



睡眠時間は?

● 7時間以下	● 8時間	● 9時間	● 10時間
● 3人	● 5人	● 2人	● 1人

好きな食べ物は何?

- 肉・・・4人
- 野菜・・・5人



「スーパー讃岐っ子」の春田さんとオビジアクさん



二重とびに挑戦する子どもたち

「スーパー讃岐っ子」ってなあに?

県内の小学4年生を対象に、スポーツの素地のある子どもたちを発掘し、専門的な指導者による育成プログラムを行うものです。子どもの発育・発達に合わせた運動と適度な休息を心がけて、「ジュニアアスリート」を育成しています。

元 気 な な か ま ぐ り - づ 紹 介

「フォークダンススクラブ 宇多津レディーズ」

フォークダンスの仲間、ほとんどが長年踊っているメンバーです。こんなにも長く続けられるとは、当初は思ってもいませんでした。元気で今まで続けてこられたのは、良き指導者と良き仲間たちに恵まれたおかげかなあと思っております。

週に一度の例会では、フォークダンス、レクリエーションダンス、ラウンドダンス、スクエアダンスと幅広く踊っています。音楽に合わせて世界各国のダンスを踊ること、また日常身につけられないコスチュームで踊ることで、気分は若く楽しくなり、足・腰・脳も鍛えられます。まさにダンスは元気の源です。生涯現役で続けられるようにと願っております。

昨年12月13日に保健センターで「スクエアダンスのクリスマスパーティー」を開催したところ、100名もの参加者でにぎわいました。また、今年の5月にはスクエアダンスを始めて5年になりますので、5周年パーティーを行う予定です。

ダンスは楽しいですよ。皆さんのご参加をお待ちいたしております。



芸能祭で楽しく踊るメンバー



花いっぱい素敵なコスチューム



みなさまの声

「子ども会 会長さん」



宇多津町子ども会
育成連絡協議会 会長
森本 修司さん

現在、子ども会の員は286名、大人は160名です。

ドッジボール、ソフトバレーボール、ソ

キャンピング活動など定番の行事はもちろんだ地域の方の指導で行う田植えや稲刈りなどの農業体験、収穫したもち米によるもちつき大会も行っています。また今年度からは、子ども会での太鼓台運行、宇夫階神社宮入など新しい活動も取り入れていきます。それらの活動の写真を貼った壁新聞も子どもたちの手により作成し、その都度、両小学校へ掲示し発表の場としていきます。

「子ども会」は子どもはもとより、行事に携わる大人たちも、自分の子ども以外の子どもとかわることで、成長させられるのです。子どもたちには日頃できない経験を、また保護者の皆さんは「親力アップ」を目指しませんか。ぜひ、一緒に楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。



太鼓台を引く子どもたち



円盤を投げる「ドッジビー」

あとがき

先日、被災地でも成人式が行われ、当時中学校3年生だった新成人が出席していました。その中で「ふるさとに帰りたい」「復興のために働きたい」という声が多く聞かれ、私たちも支援を続けていかなければと、気持ちを新たにしました。また、陸前高田市の戸羽市長は「マスコミが大きく報道するのは今年が最後。被災地を全国の皆様にしっかりと印象付けたい」と述べておられました。私たちもこの大震災を「他人ごと、過去のこと」ではなく、「自分のこと、今日のこと」という意識を持ち続けたいものです。

(西本 祐子)

議会広報特別委員会

- 委員長 西本 祐子
- 副委員長 濱中 保夫
- 委員 港 一紫
- 委員 大黒 一也
- 委員 井上 弘治
- 発行責任者 議長 大松喜次郎